

「北空知」川づくり懇談会 ニュース 第2号

平成17年3月3日、平成16年度第2回「北空知」川づくり懇談会を開催しました。

第2回「北空知」川づくり懇談会を、以下のとおり開催しました。

- 日時：平成17年3月3日（木）
13:30～15:00
- 場所：妹背牛町 コミュニティプラザ

当日は、委員13名（代理出席1名含む）が出席しました。座長挨拶の後、石狩川流域委員会と河川整備計画についての情報提供、および平成17年度の事業概要についての説明がありました。

次いで、旧川の保全と利用についての説明と、平成16年度に北空知河川事業所が実施した「流域の小中学校における川の学習について」の説明が事務局からありました。その後、各委員の方々による自由討議を行いました。



旧川の保全と利用について

石狩川堤外旧川では昨年7月と9月に魚類調査を実施しました。長田樋門・深川芽生樋門ではギンブナ、ヤチウグイ、イバラトミヨをはじめエゾホトケ、ナマズ、カムルチーなど17種の魚類を確認しました。また、ゲンゴロウ、ミズスマシ、オオコオイムシなど希少種の昆虫も確認しました。

石狩川丘陵堤工事に伴う旧川の復元工事はおおむね完了しており、上流側では石狩川本川に接続し、流水が供給されるようにしました。また、土砂掘削の際には現地の表土を仮置きし、掘削後の表面に戻すようにして植生の復元に配慮しています。ただし、台風により発生した多くの倒木については治水上の支障となるおそれがあることから処分しました。

雨竜川捷水路旧河道部については、「北空知」旧川を考える会というワークショップを開催し、旧川の保全と利用について検討を進めています。

北空知河川事業所では、地域連携事業としてハーブの植栽と生育状況調査を妹背牛町で実施しています。平成16年度は石狩川と雨竜川で延長4000m、16,000株のハーブを植えました。苗の種類や土質による成育状況と害虫防除効果について、今後も継続して調査していく予定です。

「北空知」川づくり懇談会の委員（五十音順）

一宮 克彦	(深川青年会議所理事長)
植田 顕治	(秩父別町山川草木を育てる会副会長)
小林 四郎	(幌加内町そば活性化協議会事務局長)
佐々木 新一	(深川土地改良区参事)
高島 光雄	(雨竜町みどり少年団長)
波蓮 賢司	(深川野鳥の会)
前林 哲夫	(前妹背牛町議会議員) (★副座長)
渡辺 正夫	(沼田奔川河川改修事業整備促進期成会会長)

行政担当者

池田 親司	(妹背牛町 建設課統括官)
扇谷 政美	(北竜町 建設課長)
田湯 俊博	(雨竜町 建設課長)
戸田 保	(秩父別町 建設課長)
村端 裕	(深川市 建設課長)
神 憲彦	(沼田町 建設課長)
道添 良則	(幌加内町 建設課長)

河川管理者

長南 道雄	(北空知河川事業所長) (★座長)
-------	-------------------

オブザーバー

高花 建治	(札幌土木現業所 深川出張所長)
大友 富美男	(空知支庁 北部耕地出張所長)

第2回懇談会での主な意見

事務局から河川整備計画、旧川の保全と利用について現状の河川環境、工事実施状況、および小中学校の川の学習、ハーブによる地域住民との協働などについて説明があった後、自由討議を行いました。主なご意見を紹介いたします。

■ 河川整備計画について

- ・ 雨竜川には150年間川に密着した生活や文化が根付いている。雨竜川河川整備計画策定に当っては、雨竜川総合開発などこれまでの雨竜川の歴史や文化などの特徴を踏まえて策定してほしい。
- ・ 昔の村長が書いた雨竜川物語などをふんだんに取り入れて、特徴的な河川整備計画を策定してほしい。
- ・ 河川整備計画作成にむけて、雨竜川の特徴と重要性を国にアピールしていきたい。

■ 旧川の保全と利用について

- ・ 以前は長田樋門でコイがたくさん釣れていたが、今回の魚類調査結果を見ると一匹も確認できておらず残念に思う。
- ・ 河川改修工事で復元を行っている旧川部について、台風により樹木が折れたりしているかもしれないが、樹木や水草の移植等を行うことによって元の環境に戻るよう配慮してほしい。

■ 河川環境について

- ・ ハーブの植栽は、河川環境にも関連すると思う。予算等の制約もあるだろうが地域の活性化にも繋がるよう継続的に実施してほしい。



妹背牛町主催によるハーブ植栽交流事業（平成16年9月）

■ 環境教育について

- ・ 土地改良区では、水土里ネットの活動の中で子供たちと利水についてよく話をしている。治水をはじめ、水を使うことの大事さや水源など川の役割についても説明ができる資料があればいいと思う。
- ・ 他の石狩川流域には、川の科学館のような立派な施設があるが、雨竜川周辺にも大規模なものでもなくとも良いので、簡単な模型等を展示できるような子供たちの学習施設があると良い。
- ・ 昔は治水一辺倒であったが、時代の流れとともに自然を大切にするようになってきたので、今後の教育のために雨竜川を題材にして、川の歴史がわかるようなものをつくってほしい。
- ・ 天塩川ではイカダ下り等を実施しているようだが、雨竜川では水量が少ないため実施できないようである。
- ・ 河川の堤防などにもハーブを植栽して子供たちにも教えたい。

次回のお知らせ

本年度の懇談会は、今回をもちまして終了しますが、来年度以降も継続して開催する予定です。

開催日が決まりましたら、以下の場所に開催案内を提示します。

懇談会は公開で行っております。どなたでも傍聴できますので是非ご来場下さい。

- ・ 市役所、町役場
- ・ 石狩川開発建設部、北空知河川事業所

ご意見やお問い合わせは、事務局
石狩川開発建設部 北空知河川事業所
〒097-0502 雨竜郡妹背牛町字妹背牛 482-1
TEL 0164-32-2470
FAX 0164-32-3449
まで、お気軽にお寄せ下さい